

擦弦鍵盤楽器「ヴィオラ・オルガニスタ」演奏会報告

日本オーディオ協会諮問委員

柚賀 哲夫

天才レオナルド・ダ・ヴィンチが16世紀初めに考案したと言われる擦弦鍵盤楽器「ヴィオラ・オルガニスタ」について研究し続け製作された小淵晶男氏による講演会とこの楽器を使ったダ・ヴィンチ時代の音楽演奏会が12月17日に東京、世田谷の松本記念音楽迎賓館にて行われました。

ヴィオラ・オルガニスタはピアノと同じ鍵盤楽器ですが円形の部分を回転することで弦を擦って音を出す「擦弦楽器」です。このため他の楽器とは全く異なった発音ができる楽器です。このユニークな「ヴィオラ・オルガニスタ」を中心とした鍵盤楽器の歴史、音が出る仕組み、また楽器製作についての詳しいお話が製作者の小淵晶男氏から説明されました。

その後、演奏会では杉本周介氏が「ヴィオラ・オルガニスタ」を演奏し、制作者の小淵氏ご自身が摩擦ドラムを廻されました。杉本氏の「ヴィオラ・オルガニスタ」演奏に加え、リコーダーの岡村孝子氏、歌手の原謡子氏も参加され、総ヒノキの響きのいい会場にルネサンス期のメロディーと響きがあふれ、参加された方々を魅了致しました。

講演会、演奏会の様子は[こちら](#)からご覧ください。また、スマートフォンやタブレットでの視聴は左記のQRコードをご利用ください。



レオナルド・ダ・ヴィンチ



ヴィオラ・オルガニスタ

第一部 講演会

「レオナルド・ダ・ヴィンチ発想になるヴィオラ・オルガニスタの実現」

レオナルド・ダ・ヴィンチが書き残した手稿を解釈し、後の時代に試みられたこの楽器の実現

への足取りをたどり、今回製作した楽器の進化の過程を小淵氏自身が紹介しました。

講師 小淵晶男氏 楽器製作者

クラヴィコードをメインにチェンバロ、ピアノフォルテ等歴史的な鍵盤楽器の復元製作を行っている。

復元製作においてはオリジナルの材質や寸法のコピーに止まらず、その時代や地域の文化的背景の中でオリジナルを作った製作家のマインドをコピーすることを目標にしている。

「作曲家がイメージした楽器を使って演奏することで、初めてその音楽作品を作曲家の意図を尊重して演奏することができる」、との考えで、16, 17, 18 世紀の鍵盤楽器の復元を行っている。復元製作とは立ち位置を異にするが、鍵盤楽器でありながら音程、音量の変化を付けられる素質を持った擦弦鍵盤楽器に興味を持ち研究、製作を行っている。



<http://obuchi.music.coocan.jp>

第二部 演奏会

演奏曲目

『もはや悲しみも泣く』

作曲：ジョスカン・デ・プレ
(1440頃-1527)

演奏：ヴィオラ・オルガニスタ独奏

『最も優雅で美しく、優しい乙女よ』

作者不詳(15世紀前半)

演奏：歌、ヴィオラ・オルガニスタ

『半鐘』

作曲：ハインリヒ・イザーク

演奏：ディスカント・リコーダー、ヴィオラ・オルガニスタ

『はかりしれぬ悲しみ』

作曲：ジョスカン・デ・プレ

演奏：歌、テナー・リコーダー、ヴィオラ・オルガニスタ



演奏者プロフィール：

杉本 周介氏 ヴィオラ・オルガニスタ演奏

高校卒業後渡米、ピアノを Dr. D. Rostkoski 氏、作曲を Dr. D. Jones 氏に学ぶ。1993 年渡欧し、スイス・バーゼル市で J-A. Botticher 氏にチェンバロを、M. Raschetti 氏にオルガンをオランダ・デンボス市では R. Dingen 氏にバロック音楽理論を、東京ではチェンバロを故芝崎久美子氏、クラヴィコードを風間千寿子氏に師事。ジャズの作曲や演奏活動も積極的に行い、2005 年には New York 市の Jazz at Lincoln Center において一連の自作曲を演奏。最近、バロックヴァイオリンの丹沢広樹とのデュオで中部日本縦断パッサツァー行など、各地での古楽器の演奏の他、映像関係の音楽製作も手がける。長野県原村在住。自宅スタジオで子どもから大人まで幅広く音楽の指導も行っている。



岡村 孝子氏 フラウト・ドルチェ（リコーダー）演奏

山形大学卒業。モダンフルートを宮本明恭、故齊藤賀雄、トラヴェルソを前田リリ子、リコーダーを花岡和生の各氏に師事。フルート、トラヴェルソ、リコーダーともに、ソロ、室内楽等で演奏活動をしている。リコーダーアンサンブル「TOYBOX」、古楽アンサンブル「楽泉」のメンバー。自宅教室、ヤマハ PMS 講師。生涯学習 指導員としてアンサンブルのグループを指導している。山梨県甲府市在住。



原 謡子氏 歌

東京学芸大学教育学部芸術専攻卒。在学中より合唱指揮者として活動。声楽を由比昌子氏に学ぶ。波多野睦美氏にバロック歌唱法の指導を受ける。修善寺古楽セミナーにおいて、クラウディオ・カヴィーナ氏のマスターコースに参加。コンチェルト・ゼフィロのメンバーとして静岡県立美術館などで演奏。ルネサンス声楽 Ensemble Chou を創設。



ヴィオラ・オルガニスタを使って
レオナルド・ダ・ヴィンチの時代の
音楽を演奏した CD



ヴァイオリンを模倣した
ヴィオラ・オルガニスタ

尚、ヴィオラ・オルガニスタについては下記の通り JAS ジャーナル 2013 年 3 月号から 9 月号の 4 回にわたって「擦弦鍵盤楽器」として小淵氏による解説が連載されていますのでご参照ください。

JAS ジャーナル 3 月号 擦弦鍵盤楽器 (その 1)

<http://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2013/03/030-037.pdf>

第 1 章 擦弦鍵盤楽器の歴史

第 2 章 現存するほかのタイプの擦弦鍵盤楽器

JAS ジャーナル 5 月号 擦弦鍵盤楽器 (その 2)

<http://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2013/05/024-032.pdf>

第 3 章 擦弦鍵盤楽器とは

JAS ジャーナル 7 月号 擦弦鍵盤楽器 (その 3)

<http://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2013/07/021-029.pdf>

第 3 章 (続き)

第 4 章 現代における擦弦鍵盤楽器の試み

JAS ジャーナル 9 月号 擦弦鍵盤楽器 (最終回)

<http://www.jas-audio.or.jp/jas-cms/wp-content/uploads/2013/10/048-054.pdf>

第 4 章 (続き)

筆者プロフィール： 柚賀 哲夫 (ゆが てつお)



芝浦工業大学電気工学科卒業後、日本電波工業株式会社に入社。超音波計測機器の設計に従事。その後 1970 年にソニー株式会社に入社。オーディオ関連海外 KIT ビジネス、オーディオ商品企画、オーディオ商品販売促進活動に従事。その間、米国ニューヨーク、オランダアムステルダムに海外赴任。2007 年にソニー株式会社を退社後、日本オーディオ協会事務局長を 2012 年まで務める。現在は日本オーディオ協会諮問委員として協会活動に協力。